

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	人文学・社会科学を軸とした学術知統合プロジェクト				担当部局庁	研究振興局	作成責任者
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	振興企画課		学術企画室長 名子 学
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	統合イノベーション戦略2021（令和3年6月18日閣議決定） 第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	現状において解決策が探究されていない、あるいは未だ顕在化していない社会的課題を見据えて、未来社会の構想のために、我が国の人文学・社会科学の知がどのように貢献でき、何をなし得るかを考察するプロセスの体系化を目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	本事業の実施により得た成果・知見等を今後の人文学・社会科学の振興に係る検討、企画等に活用し、当該分野の効果的な振興・推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内)	第6期科学技術・イノベーション基本計画等で人文学・社会科学の重要性が指摘される中、30～50年先の国際社会や我が国社会を見据えた長期的な視座が必要なもので、かつ、人文学・社会科学が中心となって取り組むことが適当と考えられる諸問題（以下「大きなテーマ」という。）の下、人文学・社会科学の研究者が中心となって、自然科学の研究者はもとより、産業界や市民社会などの多様なステークホルダーが知見を寄せ合って研究課題及び研究チームを創り上げていくための環境を整備し、大きなテーマごとに、毎年度、研究課題を設定するとともに、当該研究課題に対応した戦略的・実効的な研究チームを構築する。また、このことを通じて、未来社会の構想のために、我が国の人文学・社会科学の知がどのように貢献でき、何をなし得るかを考察するプロセスを体系化する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	32	32	31.6	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	4	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 4	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	28	36	31.6	-	-	
	執行額(G)		26	34	30		
	執行率(%) =(G)/(F)		93%	94%	95%		
	当初予算＋補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		81%	106%	95%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)				令和4年度で事業終了		
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		大きなテーマのもと、人文学・社会科学の研究者が中心となって、自然科学の研究者や多様なステークホルダーも関与する形で、社会課題に向き合うための考察のプロセスを体系化するための知見を得ることを目的として、具体的には人文学・社会科学の研究者を軸に研究課題・研究チームを共創する場を提供し、研究課題・研究チームの構築を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		研究チームを構築するためのワークショップ等の実施	研究チームを構築するためのワークショップ等を行ったテーマ数	活動実績	件	3	6	4	-	-	
				当初見込み	件	3	3	3	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業は、3つの大きなテーマ(①「将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方」、②「分断社会の超克」、③「新たな人類社会を形成する価値の創造」)の下に、分野を超えた研究者等が知見を寄せ合って研究課題・研究チームを創り上げていく(共創の場)ためのものであり、その具現化に向けて、それぞれの大きなテーマごとに「WSテーマ」を掲げてWSを実施することとしている。 そうしたWSにおいて、多様な参加者間で意見調整・集約等が行われる中でネットワークができ、1つの課題に取り組む「研究チーム」が大きなテーマごとに着実に創出される ということを当面の成果として認識しており、当該成果目標を設定した。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度		
		研究チームの創出	創出した研究チーム数	成果実績	件	4	3	3	3		
				目標値	件	3	3	3	3		
				達成度	%	133.3	100	100	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実績報告書及び文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業では、成果目標①-1における「研究チーム」を創出することに加え、更に外部資金を獲得するなどにより、それらの研究チームが研究実践につなげていくことも目指しており、当該成果目標を設定した。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度		
		構築した研究チームによる外部資金の獲得	構築した研究チームの外部資金の獲得状況 (外部資金を獲得した件数/外部資金に応募した件数)	成果実績	%	40	50	25	25		
				目標値	%	30	30	30	30		
				達成度	%	133.3	166.7	83.3	83.3		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実績報告書及び文部科学省調べ									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

※. 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
30百万円

職員旅費 0.2百万円
委員等旅費 0.1百万円
を含む

↓

【随意契約(企画競争)】

A. 国立大学法人大阪大学
30百万円

大きなテーマのもと、人文学・社会科学の研究者が中心となって、自然科学の研究者はもとより、産業界や市民社会などの多様なステークホルダーも関与する形で知見を寄せ合って、社会課題に向き合うための考察のプロセスを体系化するための環境を整備する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	共創の場形成に係る諸経費(会場借料、旅費、謝金等)	15			
人件費	業務実施にかかる人件費	11			
設備備品費	業務実施にかかる設備備品費	1			
一般管理費		3			
計		30	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

